

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円～/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2022
02

2022年1月 第245号



孤児院を卒業した子ども達が訪問してくれました!(カンボジア)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

2022年が始まり、はや一か月が過ぎようとしておりますが、南太平洋のトンガでの大噴火や、コロナのオミクロン株の世界規模での大拡大等、既にこの一年が平穏には済みそうもない様相を感じさせています。

しかし、このような状況の中にあっても先日1月1日、有志の方々によってチャリティーコンサートが行われ、ネットを通して多くの方々に私共孤児院とその働きが紹介され、大変嬉しく思いました。この紙面をお借りして本当に御礼申し上げます。

先ほど少し触れましたが、大きな災害が生じると、様々な理由で生活に苦しむ子供達が必ず生じます。世界規模で生じる様々な災害、問題の中、速やかに子供達を助けることができるよう、この2022年も今まで以上に気を引き締めていかなければならないと痛感させられます。

その働きの為にはどうしても皆様のお力が必要となります。

皆様の御支援、御協力、どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

1月から、長い休園を終えて幼稚園児達も久しぶりに登園しています。毎日賑やかな日々でしたが、午前中など少し静けさがある日々になりました。中高生達は半日の授業が続いていましたが、1月からは午前と午後とも授業がある以前の授業体制に戻っています。昨年末頃、孤児院の卒業生達が、数人訪ねてくれました。MAとMとLEの3人は、自分達で準備したプレゼントを子ども達に持って来てくれて、1人1人に渡してくれました。またもう1人KAは、昨年結婚して今年はお父さんになるという嬉しい報告と共に、沢山の食材を差入れてくれました。彼らの現在の成長を見ることが出来て大変嬉しく思うと共に、あらためまして子ども達の自立の為に皆様から頂きました心温まるご支援の1つ1つに、心からの感謝を申し上げます。今孤児院にいる子ども達の将来の姿を彼らに重ねながら、沢山の励ましを受けたひと時でした。皆様の上に、2022年も神様の祝福をお祈り申し上げます。2022年も、どうぞよろしくお祈り致します。



年末に訪ねてくれた孤児院卒業生達です

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

2021年の皆様のご支援ご協力に心から感謝致します。

また2021年~2022年の学用品の必要のために助成金を受けることが出来たことを感謝しています。

1月6日(木)に子どもたちのために必要な物を購入することが出来ました。既に今学期が始まって大分経っているので、学用品の在庫も少なくなっていました。

ルソン島の首都マニラ周辺ではコロナウイルス感染者が3倍に増えているため、フィリピン政府が再びロックダウンを宣言する可能性があると言うニュースを聞きました。私たちがいるミンダナオ島のダバオ市でも、外との行き来が禁止される可能性があるので心配しています。再び私たちの活動に様々な制限が加えられています。皆様のご支援を心から感謝致します。今後ともフィリピンの子どものために、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

今年も皆様とご家族のご健康とご多幸をお祈りしております。



助成金を頂いて子どもたちに必要な学用品等を買うことが出来ました

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? ザンビアはまだまだ冷え込む日が続いています。コロナのニュースも静まり、レストラン等が再開して少し賑やかさが戻り、やれやれ、と安心していただけの間、死者が200人に達したとのニュースが飛び込んできました。先月には中国がチャーター機2機で、在ザの中国人(乳幼児と高齢者中心)を帰国させたとの事でした。コロナで、あまり多くの事はできないのですが、ンゴンベコンパウンド(スラム)にある孤児のための宿題配布と食糧支援を継続しています。また、学校再開できれば、子どもたちが新しい気持ちで来れるようにと、ペイントの塗り替えもしました。孤児たちの家庭訪問をした時に、家賃が払えずに夜逃げして、住所が変わった家庭がいくつかあり、貧困がますます逼迫している様子が伝わってきました。そのため、食糧支援時に、保護者へのインタビューを行い、現況の把握とニーズの確認をしたところ、やはり、1日1食も厳しい家庭が多い事、衣類、生活必需品(石鹸等)も支援して欲しいという切迫した声がたくさんありました。そこで今後は更に緊急支援を広げていくことを計画しています。皆様どうぞご協力よろしくお祈り致します。



中等学校建設予定地

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。昨年はコロナ禍の中にありながら、皆様のご支援に支えられて、日本への一時帰国とブラジルでの生活も守られ、無事に過ごすことができました。年末に市内の児童養護施設の就学支援に参加し、ささやかなプレゼントを贈らせていただきました。その子供たちとご家族の写真が送られてきました。ホームページなどでの掲載可能とのことで、用いただけますと幸いです。ブラジルはメキシコに続き、コロナ禍で孤児を出している国です。この中でも政府の方針としては、子供を他人の手に渡さず、一番近い親戚を社会福祉士の調査により探し出し、養護をゆだねる形になっています。ブラジルは法律がよく変わるので、さらに注意して動向を見つつ、ブラジルの隣国の状況を調べています。同じ南米ラテン語諸国でも、法律や対応が国によって全く違うので、学びになります。

これからも有効な支援を続けていくことができますよう、皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお祈りいたします。



児童養護施設のクリスマスパーティーの様子